



先端科学研修 九州工業大学 戸畑キャンパス

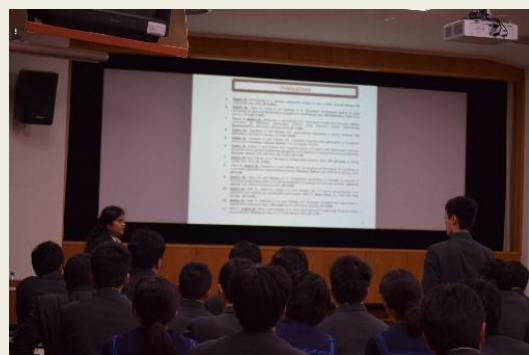
平成28年12月22日(木)、数理コミュニケーションコース・1年生を対象に、九州工業大学・工学部で先端科学研修を実施しました。

大学説明の後、折り紙で正多面体をつくる作業を通して正多面体の特徴や対称性について学ぶ実習・講義と、超伝導物質を液体窒素で冷却して磁石を空中に浮上させる実験・講義を受けました。高度な内容をかみ砕いて分かりやすく教えていただいたので、興味深く多くのことを学ぶことができました。研修後の帰りのバス中でも、正十二面体作りに挑戦する生徒の姿が見受けられ、充実した研修になりました。



報告 先端科学研究講座

平成28年12月21日(水)、先端科学研究講座を開催しました。今回は、九州大学大学院農学研究院の Mamata S. SINGHVI 博士をお迎えし、初めての試みとして英語による講義を実施していただきました。



Mamata S. SINGHVI 先生の専門分野は、「光学活性D-乳酸生産菌の産業微生物としての想定外の特性の解析と検証」で、専門的な内容も多く難しい部分もありましたが、事前学習で予備知識を習得し、日本語通訳の方のサポートも受けながら講義を進めていただきました。講義後の質疑応答では、参加した生徒が英語で積極的に質問し、理解を深めようとしていました。また、英語による科学や技術に関する講義を受けたことによって、英語の学習に対する意欲が、より一層高まった生徒も多かったようです。



先端科学研修 九州大学 伊都キャンパス

平成29年1月6日(金)、数理コミュニケーションコース・1年生の先端科学研修で九州大学伊都キャンパスを訪問しました。

水素ステーションをはじめとするさまざまな設備を見学した後、工学部で再生可能エネルギーについての講義と、機械工学に関する講義を受け、最先端の知見を学ぶことができました。その後、大学内の工場を見せていただき、様々な種類の機械加工を見学しました。3Dプリンタなどの新しい技術は特に生徒の興味をひいたようでした。九州大学の充実した研究内容と設備に触れることで、科学に対する意欲を高めることができました。

